



「敦賀港港湾保安対策協議会」を開催しました。

北陸地方整備局敦賀港湾事務所は、4月28日（木）敦賀市西公民館において「敦賀港港湾保安対策協議会」を開催しました。

本協議会は、外航船舶が利用する埠頭の保安対策について、関係行政機関や港湾利用企業等における相互連絡及び連携・協力体制を構築するため組織された機関です。

来月26日～27日に「伊勢志摩サミット」が開催されることから、敦賀港保安対策の更なる連携強化と情報共有を図るために開催しました。

会議の冒頭、協議会の会長である北陸地方整備局敦賀港湾事務所大下所長が「世界各地で頻繁にテロが発生、日本近辺でも北朝鮮のミサイル発射等、益々緊張が高まっている。国際会議は、テロの標的になるリスクがあり、万全の対策を講じる必要がある。より一層の港湾保安対策に関する情報共有と連携強化を図りたい。」と挨拶しました。

会議には、協議会構成員ら23名の参加があり、敦賀警察署佐藤警部補による「サミットに向けた国際テロ対策について」国際テロの発生状況やテロの脅威、テロの未然防止に向けた取組等の紹介をはじめ、敦賀海上保安部中村警備救難課長による「海上におけるテロ対策について」、北陸地方整備局敦賀港湾事務所阿部副所長から「港湾における保安対策の現況について」の情報提供が行われました。

サミットに向けた各機関における連携・協力体制の強化を確認し、福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所児玉所長の挨拶で会議は終了しました。



大下所長挨拶



会場の様子